

令和8年6月 定例教育委員会会議録
〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和8年6月25日(木) 10時00分～11時35分
開 催 場 所	半田市役所 4階 庁議室
出 席 委 員	教 育 長 榑 原 雅 晃 委 員 堀 崎 隆 資 委 員 新 美 大 委 員 久 米 宏 和 委 員 桂 優 子 委 員 正 村 日 登 美
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 森 田 知 幸 学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 主 任 指 導 主 事 木 下 稔 章 指 導 主 事 岡 戸 秀 一 給 食 セ ン タ ー 所 長 榑 原 秀 夫 生 涯 学 習 課 長 石 島 陽 子 ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博 ス ポ ー ツ 課 主 幹 河 合 信 二 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 博 物 館 長 中 村 省 吾 新 美 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 主 査 石 川 修 平
報 告 ・ 協 議 事 項	(1) 寄附、後援願等について (2) 市費単独扶助費（準要保護世帯への就学援助費）の見直しについて (3) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について (4) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱について (5) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について (6) 日本福祉大学ゲスト講師の派遣依頼について (7) 新美南吉読書感想画コンクールについて (8) 各種事業について ①「女性のためのデジタル人材養成講座」（9月8日～）の開催について ②令和8年度生涯学習課が提供する夏の子ども向けイベント一覧について ③「まなびとゼミ 夏いち体験講座」（8月1日）の開催について ④「ものづくり教室」（8月5日）の開催について ⑤BON☆BON ナイトウォーキングの開催について ⑥HANDA SPORTS DAY2026 の開催について ⑦愛知駅伝半田市代表選手の募集及び練習会等について ⑧第80回半田市スポーツ大会（半田祭）の開催について ⑨夏休みは図書館・博物館へ行こう ⑩「旧中埜家住宅ポストカードプレゼント」について ⑪第38回「新美南吉童話賞」作品募集について ⑫新美南吉生誕祭の開催について ⑬特別展「蛍の夢～南吉を映す主人公たち～」の開催について
各課事務連絡	なし

＜議事録＞

1. 前回の会議 録の承認	(事務局) 5月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) 5月1日に、半田市消防操法大会に出席しました。市内各地区から12チームが出場し、小型ポンプ操法が行われました。昨年よりも出場チームが少なかったと聞いております。半田市においても消防団員の減少や高齢化が進んでいるということで、消防団は火災対応だけでなく防災面でも大きな役割を果たしており、団員の確保が課題になっています。教育という視点からも、地元子どもたちが将来地域を支えていくという意味で、消防団の課題を意識する必要があると考えさせられました。 6月18日には、市単独扶助事業の見直し会議に出席しました。これは市役所内の会議で、長年見直しが図られないまま継続されている市単独の扶助事業について、現状を点検し、適正化を図るという市長の方針に基づき、見直し作業が進められているものです。教育委員会関係の事業も含まれておりますので、後ほど詳しく報告し、委員の皆さんのご意見を伺いたいと思います。 6月20日には、図書館運営計画スタート講演会「みんなでつなぐ図書館の未来」に出席しました。定員を超える60名以上の参加がありました。基調講演は京都橘大学の島田学先生で、「図書館は市民の協働と連携のハブとなるものだ」という言葉が印象に残りました。新しい基本計画の策定を機に、今後、図書館が単なる本の貸出しや資料保存の場ではなく、市民が集い、つながる場として、これまで以上に活性化していくことを期待しています。 5月以降、学校訪問の機会も利用しながら、校長との面談を進めています。これは県の教職員評価制度に基づくもので、今年度の各校長の学校経営目標を確認し、目標の質を向上させるための話し合いです。すべての校長が今年度1年を通じて目指す達成目標を設定し、学校経営にあたります。今後、進捗状況の報告や自己評価を受け、年度末に私の方で評価します。教育委員の皆さんにも、機会がありましたら、校長の経営方針や今年度の目標などを話題にしていいただければと思います。
■報告事項 1) 寄附、後援願について	(学校教育課長) ・寄附 7件 ・後援名義使用許可 18件 (図書館長) 図書館における環境音による空間ゾーニングの実証実験を行った環境整備に関連し、今後その財源をもとに整備を進めていきたいと考えています。

2)市費単独扶助費(準要保護世帯への就学援助費)の見直しについて	(学校教育課長) 市単独扶助費とは、国や県の補助金などの財源がなく、市税を財源とする福祉的な手当等を指します。半田市では、これまで長年にわたり、市単独扶助費の抜本的な見直しが行われてこなかった状況があります。福祉的な手当は見直しがしにくい分野であり、全国の自治体でも課題になっています。このたび半田市として全庁一斉で見直しに取り組むこととなり、教育委員会では、学校教育課の事業である準要保護世帯に対する就学援助費が該当しますので、改めて公平な制度運用に努めたいというものです。 準要保護世帯に対する就学援助費は、就学上必要となる費用を対象者に支給する制度であり、支給要件については大きく2つあります。1つ目は、市民税の非課税者または減免者、児童扶養手当の受給者などで、これらをもって支給要件としてきました。2つ目は、それ以外の経済的な困窮者として、前年度所得による収入と、生活保護制度の算定式を準用して世帯員の人数と年齢から計算した理論上の生活費を比較し、収入が生活費を下回る場合としてきました。 支給内容の主な費目は、学校給食費、修学旅行費、新入学学用品費、学用品費、校外活動費、地域クラブ活動参加費、高等学校入学準備金などです。学校給食費は小学生が概ね無償化されているため、現在は中学生が対象です。地域クラブ活動参加費は、部活動の地域展開に伴い導入したもので、こちらは中学生が対象です。高等学校入学準備金も中学生のみとなります。 次に見直しの内容については、大きく2点考えられます。1点目は、生活保護制度の認定基準との乖離の是正です。本制度は生活保護世帯に準ずる世帯への援助制度であるにもかかわらず、認定基準が生活保護制度の認定基準と乖離している部分があります。完全一致を目指すものではありませんが、できる限り近づけることが考えられます。 また、収入の算定にあたり、これまで収入として算入していなかった養育費などを、今後は収入として算入したり、これまで収入算定に用いる前年度所得は、生命保険料控除、地震保険料控除、基礎控除、ひとり親控除などを控除した後の課税所得を用いていましたが、今後は控除前の所得、給与所得者であれば給与所得と呼ばれるものを用いたりすることも考えられます。これも生活保護制度に近づけるための措置です。 資産要件については、これまで本制度では用いていませんでしたが、預貯金等の金融資産が相当額ある方については対象外とすることも考えられます。 2点目は支給費目の見直しです。半田市独自の支給費目を廃止や各費目の全額を見直すことなどが考えられます。 (教育長) 初めて聞く内容もあるかと思いますので、まずは質問から受けたいと思います。その後にご意見を伺います。ご質問はありませんか。
---	--

<質問>

(正村委員)

養育費というのは、離婚などをされた場合に相手方から受け取るものという理解でよいですか。

(学校教育課長)

そのとおりです。

(久米委員)

養育費を支払っている側は、その支払った分を差し引いて査定するのですか。

(学校教育課長)

離婚され、母の世帯に子どもがいる場合、その子どもは母の世帯になりますので、就学援助の対象者は母側として判定します。仮に子どもが双方に
いる場合などには、支払っている父側について、養育費を支払っている分を差し引いて判定する扱いはいたしません。

(新美委員)

具体的な支給額を教えてください。現在、支給している人には1人当たり年間どの程度支給していることになりますか。

(学校教育課長)

学年や費目によって異なります。新入学学用品費は、小学校入学時が5万7,060円、中学校入学時が6万3,000円です。学用品費は、小学生が年間1万1,630円、中学生が年間2万2,730円です。校外活動費は、小学生で1,600円程度、中学生で2,310円程度です。修学旅行費は実費で、小学校は3万円程度、中学校は6万円程度になります。中学校給食費は1食290円です。地域クラブ活動参加費は年間1万2,000円以内、高等学校入学準備金は1人2万円です。

(新美委員)

現在、支給を受けている世帯は、夫婦の家庭とひとり親世帯ではどちらが多いのですか。

(学校教育課長)

試算したところ、おおよそ半々です。

(桂委員)

控除前所得を使うことで、子どもが多い、障がいのある家族がいるなど、控除が大きい世帯についても対象外となる可能性があるかもしれないという理解でよいですか。

(学校教育課長)

控除前の所得を用いるため、控除が多いことにより従来は対象となっていた方が、今回対象外になる可能性はあります。

(教育長)

教育委員会事務局としては、委員の皆さんのご意見を市長部局へ伝達する立場にあります。それでは、市民目線、教育関係者としての目線、日頃学校や子どもたちと関わっている立場から、率直なご意見をお聞かせください。

<意見>

(堀崎委員)

この制度は、学校で子どもたちを見ている立場からも必要な制度だと思います。必要な家庭に案内できる制度があることはよいことです。一方で、実際には援助が必要ないのに受給している、あるいはもらい過ぎているようなケースがあれば、それを見直しにより整理できるとよいと思います。

(久米委員)

見直しにより、支給を受けられなくなる方で本当に生活が苦しくなるといったことはないのでしょうか。

(学校教育課長)

生活困窮状況については、個別事情があるので分からない部分もあります。生活援護課くらし相談担当の家計改善等を案内することも考えられます。家計の見直しや就労支援などにつなげることも考えています。生活が苦しい理由が所得の低さなのか、支出の面でさまざまなものに使ってしまうためなのか、状況にもよると思います。

(新美委員)

所得で区切る仕組みは、働こうとする意欲を薄れさせる面もあるかもしれません。生活保護世帯のように病気等で本当に働けない、子どもが小さすぎて働きに行けないという家庭は支援すべきですが、基準を見直してもまだ援助額が高いという考えはありませんか。

(学校教育課長)

ご指摘のとおり、考え方はいろいろあると思います。その中で、生活に苦しい子どもたちが学校で他の子どもたちと同じように生活できることを最優先したいと考え、その点を重視します。また、一度の見直しで終わりではなく、今後も数年おきに定期的に見直ししていく予定ですので、状況を見ながら判断していきたいと思います。

(正村委員)

子どもを中心に考えること、子どもが学校で困らないようにすることが大切です。親にお金が入ると別の方向に使われてしまうのではないかと

	う心配もあり、できるだけ学校に直接入るような仕組みにできないかと思います。見直しは必要であるため、公平性と、親ではなく子どもが困らないようにするという点をしっかり見ていただきたいと思います。 (桂委員) 私の周りには障害がある子どもがいるシングルマザーながら働いている方で、学校に頻繁に行かなければならない、仕事の融通をつけなければならぬという生活をしている方も多くいるため、個別の家庭の状況を思うと心配もあります。見直しにより、そのような家庭が大丈夫かという不安があります。 (教育長) ありがとうございました。いただいた意見は市長部局へ伝えさせていただきます。
3) 児童生徒の交通事故・問題行動等について	(指導主事) 令和8年5月16日から6月14日までの交通事故、問題行動、交通事故以外の事故、不審者情報等について。 交通事故:1件 問題行動(被害)等:8件 交通事故以外の事故:4件 学校等被害等:1件 不審者情報:0件
4) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱について 5) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について	(給食センター所長) 半田市学校給食運営委員会委員及び食物アレルギー対応委員会委員について、一括して報告します。半田市学校給食運営協議会委員と半田市食物アレルギー対応委員会委員は、規定により2年間の任期です。各委員は、名簿の所属・役職欄に記載している関係団体の役職者をお願いしていますが、役員交代や人事異動等に伴い変更するものです。後任者の任期は前任者の残任期間となります。今回、学校給食運営委員会については9名、食物アレルギー対応委員会については4名の委員を改めて委嘱します。
6) 日本福祉大学ゲスト講師の派遣依頼について	(スポーツ課長) 6月15日に日本福祉大学美浜キャンパスにおいて、日本福祉大学の「スポーツ政策・行政論」という科目の一コマで、3年生123名を対象に講義を行いました。講師を務めた武内はスポーツ課2年目の職員です。学生からは、「少子化や高齢化、指導者不足が課題になっていることが分かった」「スポーツを通して健康増進だけでなく、地域の活性化につながる取り組みが重要だと感じた」など、多くの感想をいただきました。 (教育長) 私も感想を読ませてもらいましたが、大変立派にやってくれたと思います。学生の感想も肯定的で素晴らしかったです。

7)新美南吉読書感想画コンクールについて	(図書館長) 例年実施している事業で、今年も同様に実施していくものです。内容自体は大きく変わっていませんが、中学校の募集がかなり減少傾向にあること、小学校では参加校に偏りがあることなどが課題です。来年度の実施に向けて、新美南吉記念館と共に年間を通して内容を整理する中で、よりよいものにしていきたいと考えています。
8)各種事業について ①「女性のためのデジタル人材養成講座」(9月8日～)の開催について ②令和8年度生涯学習課が提供する夏の子ども向けイベント一覧について ③「まなびとゼミ 夏いち体験講座」(8月1日)の開催について ④「ものづくり教室」(8月5日)の開催について	(生涯学習課長) 今回初めて企画しました「女性のためのデジタル人材養成講座」です。現在、受講生を募集中です。対象者を絞り、結婚・出産等で一旦離職された女性を対象としています。最新のデジタルの使い方や AI の活用を学ぶことで、次への一歩となればという学びの講座です。定員20名のところ、現在半分程度の申込みとなっていますので、ぜひご紹介いただければと思います。 他事業についても、親子で参加できるものや夏休み期間中の講座です。学校配布、ホームページ、Instagram 等も活用して広報していきます。
⑤BON☆BON ナイトウォーキングの開催について ⑥HANDA SPORTS DAY 2026 の開催について ⑦愛知駅伝半田市代表選手の募集及び練習会等について ⑧第80回半田市スポーツ大会(半田祭)の開催について	(スポーツ課長) 「BON☆BON ナイトウォーキング」について説明します。8月22日(土)に、盆踊りや商店街と協力し、JR半田駅前商店街周辺で実施します。昨年に引き続き2回目の開催となります。申し込みは専用サイトで受け付けます。開催時間、場所、参加費等は資料記載のとおりです。昨年度は初回開催で、有料イベントにもかかわらず130名の方に参加いただき、商店街の方々にも喜んでいただきました。 次に「半田スポーツデー2026」についてです。きっかけがあればスポーツをする人をメインターゲットとして、スポーツが苦手な方やスポーツにあまりなじみのない方でも気軽に参加できるような、どこよりも参加ハードルの低いスポーツイベントを実施します。毎年11月第1日曜日に開催しており、今年は11月1日(日)に開催予定です。教育委員の皆様には、昨年同様、表彰式で賞状授与等をお願いしたいと考えています。昨年同様、午前の部、午後の部の二部制で1日を通して楽しんでもいただける内容です。協議内容、参加資格等は資料記載のとおりです。参加申込みは先着順で、市内在住の方は7月1日から、市外在住の方は7月31日からを予定しています。 次に「愛知駅伝半田市代表選手の募集」についてです。今年の愛知駅伝は12月5日(土)に開催予定です。昨年度は半田市として歴代2位の好成績となる18位という記録を残すことができました。今年度も選手選考会を実施し、代表選手を選考していきます。

	最後に「第80回半田市スポーツ大会」についてです。半田市スポーツ大会は通称「半田祭」と言われるもので、主に知多地区からの参加者を対象に半田市教育委員会と半田市スポーツ協会の主催で開催し、一般の部は20種目、中学生の部は14種目、その他の部は3種目で実施します。会場や参加料は資料記載のとおりで、今後、市報やホームページで参加者を募り実施してまいります。
⑨夏休みは図書館・博物館へ行く	(図書館長) 夏休み中の図書館・博物館で行う、子どもたちの学習・学びの支援する取り組みになります。そのうち「上下水道まるわかりラボ」は、今年から行政とタイアップして行う講座の一つです。また、「消防・救急ふれあいフェア」についても、図書館という場所を活用したイベントで、消防署から声をかけていただいて実施するものです。
⑩「旧中埜家住宅ポストカードプレゼント」について	(博物館長) 7月4日(土)から8月30日(日)までの間、博物館にお越しいただいた方に旧中埜家住宅のオリジナルポストカードをプレゼントします。採用されている絵柄は、過去のイベントで市民の方に描いていただいた旧中埜家住宅のイラスト、5作品を順番に配布させていただいているものです。
⑪ 第38回「新美南吉童話賞」作品募集について ⑫新美南吉生誕祭の開催について ⑬特別展「蛍の夢～南吉を映す主人公たち～」の開催について	(新美南吉記念館長) 「第38回「新美南吉童話賞」作品募集」についてです。今年も創作童話の募集を行います。締切は9月10日で、先日の校長会でも、市内の学校には夏休みの課題の一つとして取り組みいただきたい旨、周知をお願いしました。 次に「新美南吉生誕祭の開催について」です。7月30日は新美南吉の113回目の誕生日です。これを記念し、7月30日、8月1日、2日の3日間にわたり新美南吉生誕祭を開催します。誕生日当日の7月30日は、10時30分より合唱・朗読・献花など「南吉さんの日」式典を行います。8月1日(土)の夜は、岩滑山車保存会、岩滑新田平井組、岩滑新田奥組並びに岩滑盆踊唄保存会の協力を得て、正八さんの宵祭りを開催します。後日ご案内しますが、ご都合がございましたら教育委員の皆様には7月30日の式典にご出席いただければ幸いです。 最後に7月18日から開催される「特別展「蛍の夢～南吉を映す主人公たち～」の開催についてです。新美南吉には創作を加えつつも、彼自身を主人公にしたと思われる自伝的な小説が数多くあります タイトルの「蛍の夢」は、最晩年の小説「天狗」のなかで、南吉が自らの創作人生を振り返って書いた言葉にちなみます。その他にもさまざまな小説を取り上げ、それらにちなんだ関連行事も企画していますので、ぜひご覧いただければと思います。

バードカービング展の図録について	(博物館長) 教育委員の皆様配布した資料は、現在開催中のバードカービング展の図録になります。初日から700名を超えるお客様にお越しいただいております。夏休みに入りますとお子様にもたくさん来ていただけたと思います。教育委員の皆様におかれましても、ご都合がございましたら是非ご覧いただけますと幸いです。
■教育委員からの意見提言等	(堀崎委員) 夏休みの出校日がなくなりつつあるように感じています。理由を聞くと、暑くて登校するのに不安という話もありますが、それだけでよいのかと思います。9月1日を子どもたちにどう迎えさせたいのか、また作品募集もあります。9月1日に一気に作品を持ってきて、きちんと管理できるのか、メリット・デメリットを考えているのか危惧しています。学校によっては「自由に作品を」と言うところもあるようですが、持ってきた作品をきちんと管理してもらいたいと思います。教育委員会から学校に伝えてください。 (教育長) 夏休みの出校日の取扱いについて、教育委員会事務局として実態を把握させてください。次回の校長会等で話題にしたいと思います。
次回開催等	(事務局) 7月定例教育委員会 日時:7月23日(木)10時00分～ 場所:半田市役所4階 庁議室 (教育長) 6月定例教育委員会を終了する。

〈 閉会 11時35分 〉